

グリーン海事株式会社 新造船タグボートいせしお就航

12月16日、金川造船株式会社より引渡されたグリーン海事株式会社の新造船タグボート「いせしお」が名古屋港に配備された。

新造船の「いせしお」は旧「いせしお」の代替船として建造され、船名を引き継ぐとともに、従来船と比べて操船時の安全性と操縦性を高めるため、船橋からモニターで全方位を確認できるカメラを取り付けた。

グリーン海事株式会社は、4隻のタグボートを運航し、LNG船をはじめ原油タンカー、プロダクトタンカー、木材チップ船、コンテナ船、自動車運搬船やクルーズ船など、大型船の入出港における離着岸のサポートやエスコート作業に従事し、国内屈指の貨物取扱量を誇る名古屋港と四日市港において、大型船の安全で円滑な入出港のサポートを通し、日本の海上輸送を支えている。職人気質の北島宗英船長は「わがタグ道に一片のくいなきように邁進する」と力強く語り、新造船への自信と意気込みを示した。

古くより名古屋城の城下町に職人が集い、ものづくりの街として発展をとげてきた名古屋市は、現在も自動車産業を中心に、日本の産業をけん引している。

この名古屋市の海の玄関口として発展してきた名古屋港のシンボル、名古屋港ポートビルのそばには、昭和40年から18年間にわたり活躍した南極観測船「ふじ」が昭和60年から係留されており、現在も多くの見学客でにぎわっている。

「海員だより」